

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和2年度	事業年度	令和元年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	土曜楽校(陶芸教室)		整理番号	1013-004		
前総合計画体系	政策	第3章 人が輝き文化が薫る東みよし	担当部署	生涯学習課		
	基本施策	5 青少年の健全育成	所属長	臼木 達也		
	単位施策	(3) 青少年の体験・交流活動等の促進	電話番号	79-3217		
根拠法令等	特になし					
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	平成19年度	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input checked="" type="checkbox"/> 11年～20年	<input type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 具体的に誰(なに)を	町内の小学生	対象者	20人
事務事業の目的 どのような状態にしたいのか	地域の方々との世代間交流を通じて趣味・特技の幅を広げることにより、児童が有意義な休日を過ごせるようにする。		
事務事業の内容 どのような方法・手段で事務事業を行ったか	<p>現在、土曜楽校で実施しているのは陶芸クラブによる陶芸教室であり、「生きがいと創造の作業所」(JR三加茂駅西側)で月に1回(第3土曜日)に開催している(令和元年度は6月から3月まで9回開催)。</p> <p>児童の募集については、町内の全小学校を通じて募集している。</p> <p>教室の運営及び児童への指導は陶芸クラブが行っている。一方、陶芸クラブ講師及び児童保護者への連絡・案内は町教育委員会が行っている。</p>		
事務事業の成果 結果・実績はどうか	<p>令和元年度の参加児童は159名。インフルエンザが流行した12月を除き、20人中欠席の受講者は1～3人程度で推移し、全体的に出席率が高かった。参加した児童は学校ではできない新たな体験ができたことにより、趣味・特技の幅を広げることができた。</p> <p>講師側も児童に陶芸を教えることで新たな生きがいを得ている。</p>		
特記事項	令和元年度は6月から3月までの計10回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑みて3月の閉講式・最終回教室は中止とした。		

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	平成30年度	令和元年度(評価対象年度)	令和2年度(見込)	
事業費【(a)～(e)の合計】	45,604 <small>うち繰越分↓ 0</small>	54,599 <small>うち繰越分↓ 0</small>	55,100 <small>うち繰越分↓ 0</small>	
財源内訳	国庫支出金(a)			
	県支出金(b)			
	地方債(c)			
	その他(d)	23,400 <small>うち繰越分↓</small>	26,100 <small>うち繰越分↓</small>	26,100 <small>うち繰越分↓</small>
	うち受益者負担	23,400 <small>うち繰越分↓</small>	26,100 <small>うち繰越分↓</small>	26,100 <small>うち繰越分↓</small>
	一般財源(e)	22,204 <small>うち繰越分↓</small>	28,499 <small>うち繰越分↓</small>	29,000 <small>うち繰越分↓</small>
特定財源の名称・金額	粘土代(参加者自己負担) 26,100円			
令和元年度経費の内訳 事務事業に係る経費の詳細	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 9 教育費 項 5 社会教育費 目 1 社会教育総務費 粘土代(参加者自己負担) 26,100円 消耗品費(陶芸用下絵具) 7,348円 土曜楽校備品(たたら板) 5,151円 保険料 16,000円			
備考	材料費(陶芸用粘土)は受益者負担である。これ以外に必要な経費が発生した場合は、青少年育成東みよし町民会議の会計から支出する。			